

被災宅地危険度判定士 登録更新申請書

申請年月日 年 月 日

和歌山県知事 様

わたくしは、和歌山県被災宅地危険度判定士登録要綱第3条第1項に該当し、第12条に定める被災宅地危険度判定士養成講習会を修了したので、第7条第2項の規定により、被災宅地危険度判定士の登録を申請します。

ふりがな 申請者氏名		生年月日	昭和 年 月 日 平成
居住地住所	〒 TEL ()		
勤務先	住所	〒 - TEL ()	
	名称 (勤務先名)	TEL ()	
	所属 部署		
現在有効な 登録	番号	- -	
	有効期限	年 月 日まで有効	

※ 現在お持ちの登録証及び申請日前6ヶ月以内に撮った顔写真(タテ3cm×ヨコ2cm)1枚を添付してください。

登録番号	有効期限
- -	. .

(事務局で記入)

「被災宅地危険度判定士登録更新申請書」記入上の注意

- 1 この申請書は、被災宅地危険度判定士として登録の更新を受ける意思がある方のみ提出してください。
- 2 登録更新申請には、現に有効な登録証の提出が必要です。
- 3 各欄の記入手順
 - (1) 「申請者氏名」欄には、運転免許証等の公的な証明書で確認することができるあなたの氏名を楷書で判読できるように記入し、ふりがなを付けてください。生年月日は、“昭和、平成”のうち該当するものを○で囲んで記入してください。
 - (2) 「居住地住所」欄には、住民登録等の有無に関係なく、現在あなたが日常生活の本拠としている住所（通常、生活の場としている、連絡のとることができる所）を記入してください。「電話番号」は、最も確実に連絡がとれる番号を記入してください。
 - (3) 「勤務先」欄には、現在あなたが勤務している会社等の名称、所属部局課名と、その所在地の住所を記入してください。「電話番号」は、「居住地住所」欄と同様に連絡が最も確実にとれる番号を記入し、勤務先の代表番号等、非常時の連絡に手間がかかる可能性がある番号は避けてください。
 - (4) 「現在有効な登録」欄には、現に有効な登録証に記載されている登録番号と有効期限を記入してください。
 - (5) 「登録番号」と「有効期限」（事務局で記入）の欄には、何も記入しないでください。